

1. 科目名 (単位数)	日本語教授法 I (2 単位)	3. 科目番号	EJJP2153
2. 授業担当教員	大橋 真由美		
4. 授業形態	講義・演習・討論・発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語教育の理論と方法」「第二言語習得理論」を履修済みであることが望ましい		
7. 講義概要	日本語教師としてどのような能力が必要なのか、理解した上で、日本語を教える際に用いられている教授法と理論について学ぶ。また、初級においてどのような教授法が用いられ、初級でどう教えていくかについて学んでいく。特に初級においては、学習者に理解してもらおうと、説明しがちになるが、説明は行わないことを理解する。初級では、さまざまな教授法を紹介し、その中で学習者自身が教授法を導き出せるように促していく。学習者の習得を促すために日本語教師は何をすればよいか考える。		
8. 学習目標	1. 日本語教師に必要な能力とは何かについて学ぶ。 2. どのような教授法が初級で用いられているのか理解できる。 3. 初級の四技能の習得を考慮した指導ができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 各回ワークシートを配布し、それに沿ってペアワーク、グループワークを行いながら授業を進める。ペアワーク、グループワークの内容は授業後にワークシートにまとめ、授業の感想とともに次回の授業で提出する。 2. グループワークとして、2回の活動と発表を行う。(第7回、第13・14回)		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】高見沢孟他著『新・はじめての日本語教育 2[増補改訂版] 日本語教授法入門』アスク出版、2016。 【参考書】「新・はじめての日本語教育」シリーズ (『DVD 新・はじめての日本語教育—初級の指導—』アスク出版、2008。 高見沢孟監修『新・はじめての日本語教育 1[増補改訂版] 日本語の基礎知識』アスク出版、2016。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 日本語教師の仕事について理解できたか。 2. 日本語教師として、現場での指導実践に役立てるような活動ができたか。 ○評定の方法 [授業への出席、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・受講態度 総合点の30% 2 期末試験 (レポート) 総合点の30% 3 課題・発表 総合点の40% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	外国語としての日本語はどのようなものなのか、日本語を教えるということはどうことか、学習者の立場から考えてみてほしい。また、積極的に意見交換をしながら、効果的な教え方、練習など考えていくため、事前・事後学習もしっかり取り組むこと。		
13. オフィスアワー	初回の講義で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、 第1章「日本語教師の役割」	事前学習	日本語教師とはどのような職業か、役割や条件、理想とする教師像について考えておく。
		事後学習	教科書 pp.7～20 を読み、pp.20 課題 1 をする。
第2回	第2章「日本語を教えるということ」	事前学習	教科書 pp.21～42 を読み理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。
第3回	第3章「初級の教え方(1)」 1. 会話を教えるということ～4. 課の目的理解	事前学習	教科書 pp.43～48 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。
第4回	第3章「初級の教え方(1)」 5. 対話の指導、6. 補足語彙の指導	事前学習	教科書 pp.49～56 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。
第5回	第3章「初級の教え方(1)」 7. 文法用法説明の指導、8. 各種練習の指導(1)	事前学習	教科書 pp.57～64 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。
第6回	第3章「初級の教え方(1)」 8. 各種練習の指導(2)	事前学習	教科書 pp.64～74 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。
第7回	グループワーク： ロール・プレイ練習、タスク練習を作成し、発表	事前学習	グループワークに備え、アイディアをまとめておく。
		事後学習	発表内容、他のグループのコメントをまとめる (次回授業で提出)。
第8回	第3章「初級の教え方(1)」 9. 日本語における「練習」と転移、 10. 練習問題の指導	事前学習	教科書 pp.75～80 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる (次回授業で提出)。
第9回	第4章「初級の教え方(2)」 1. 文字教育を始める前に～3. 漢字の教え方	事前学習	教科書 pp.81～88 を読み、内容を理解しておく。

		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。
第10回	第4章「初級の教え方(2)」 4. パソコンの利用法、5. 日本語の表記	事前学習	教科書 pp.89～94 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。
第11回	第4章「初級の教え方(2)」 6. 誤用の指導	事前学習	教科書 pp.95～96 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。
第12回	第8章「評価と試験」 1. 評価の対象～5. 試験問題の種類	事前学習	教科書 pp.137～147 を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。
第13回	第8章「評価と試験」 6. 試験の効果 グループワーク：試験作成	事前学習	教科書 pp.148 を読み、内容を理解しておく。 グループワークに備え、アイデアをまとめておく。
		事後学習	提出用の試験を作成する。
第14回	グループ発表：作成した試験について発表、 質疑応答、コメント	事前学習	発表準備をする。
		事後学習	発表内容、他のグループのコメントをまとめる。 （次回授業で提出）。
第15回	これまでの内容の振り返り	事前学習	教科書、学習内容を復習しておく。
		事後学習	教科書、ワークシートを復習し、期末試験の準備をする。
期末試験			